

2021年5月吉日



Logistics, Progress, Borderless.

2021年3月期決算説明会

安田倉庫株式会社



証券コード : 9324

<https://www.yasuda-soko.co.jp/>

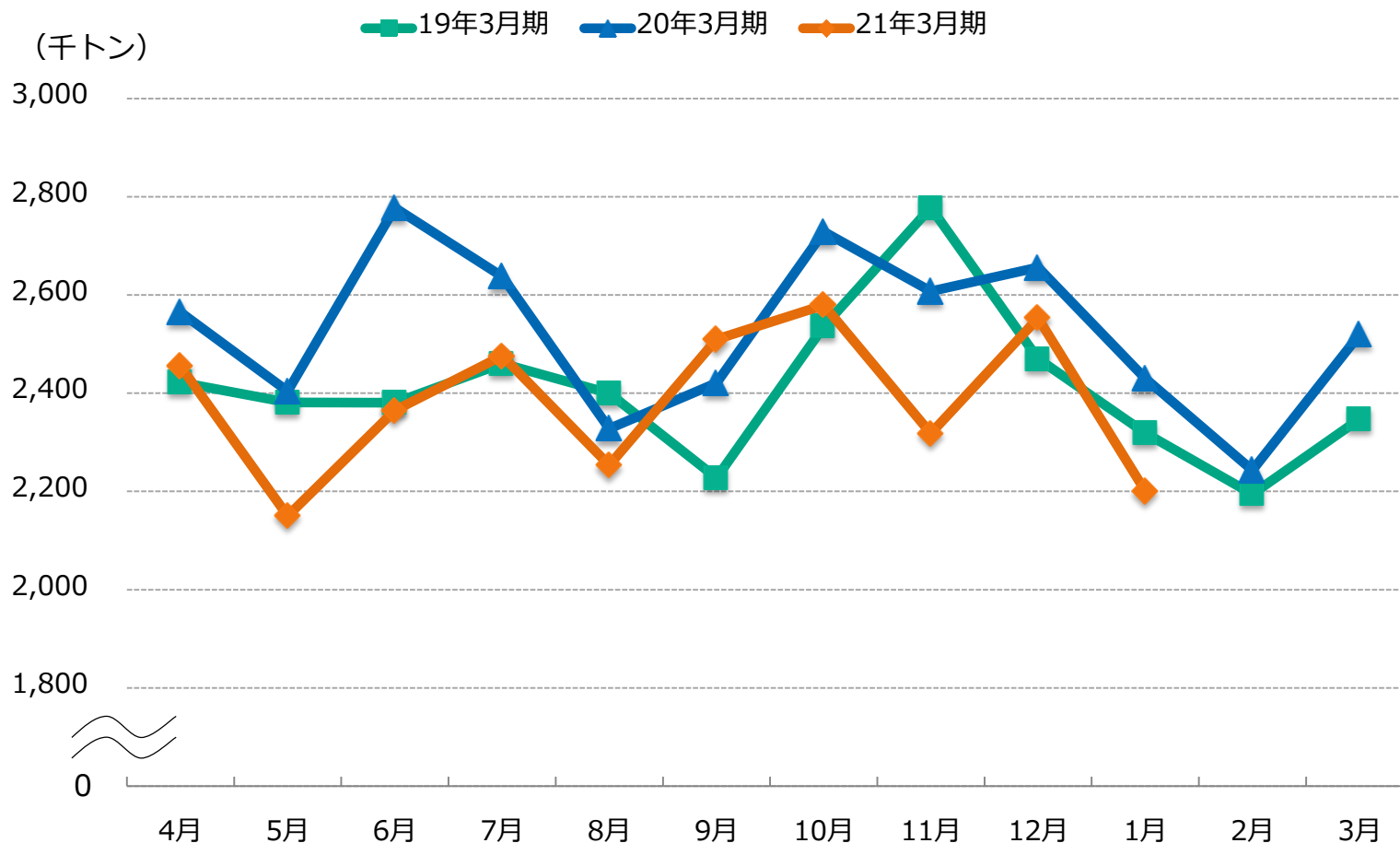
1. 環境認識

2. 2021年3月期 通期の実績

3. 2022年3月期 通期の見通し

普通倉庫 2 1 社統計 入庫高

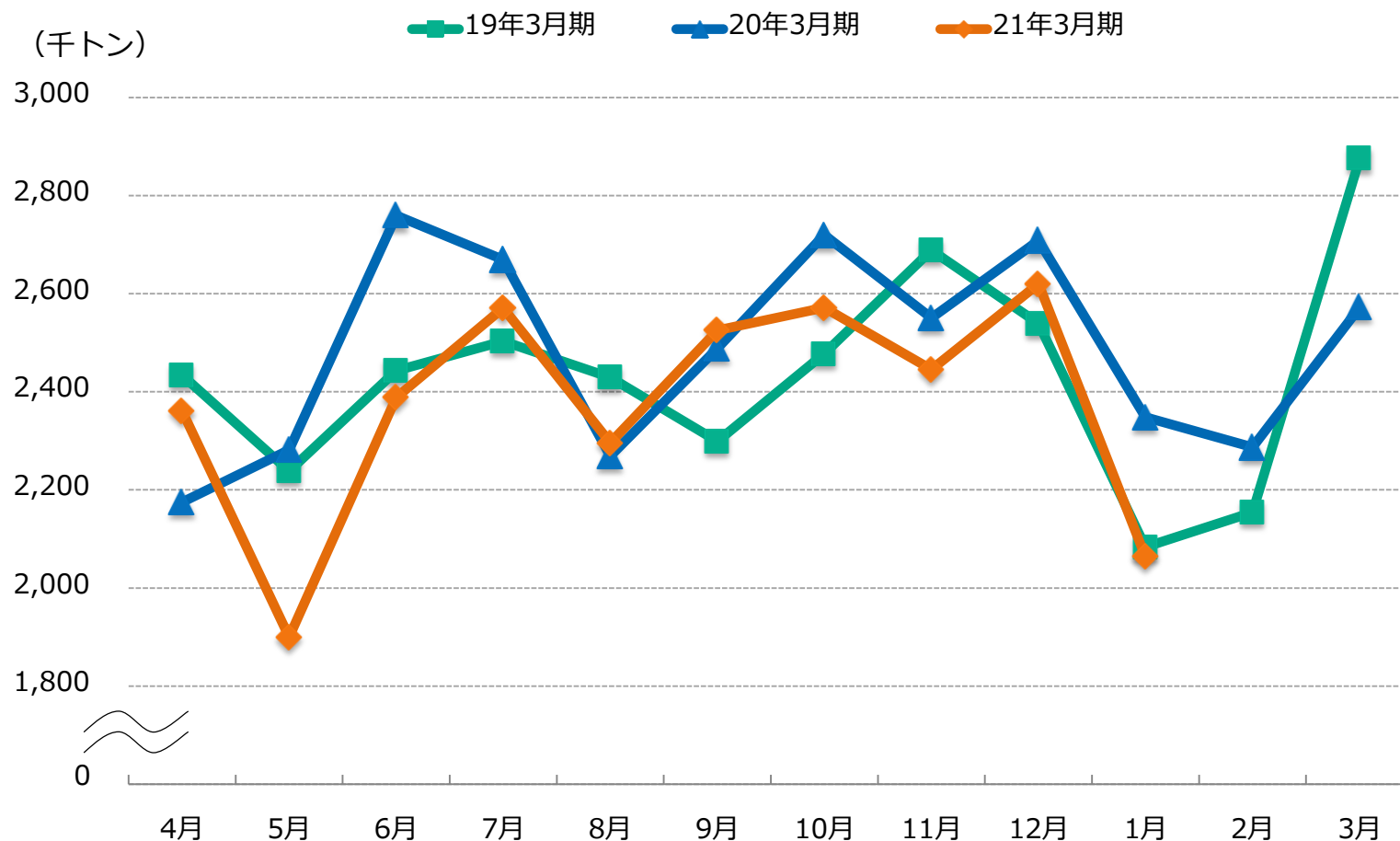
2



データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫 2 1 社統計 出庫高

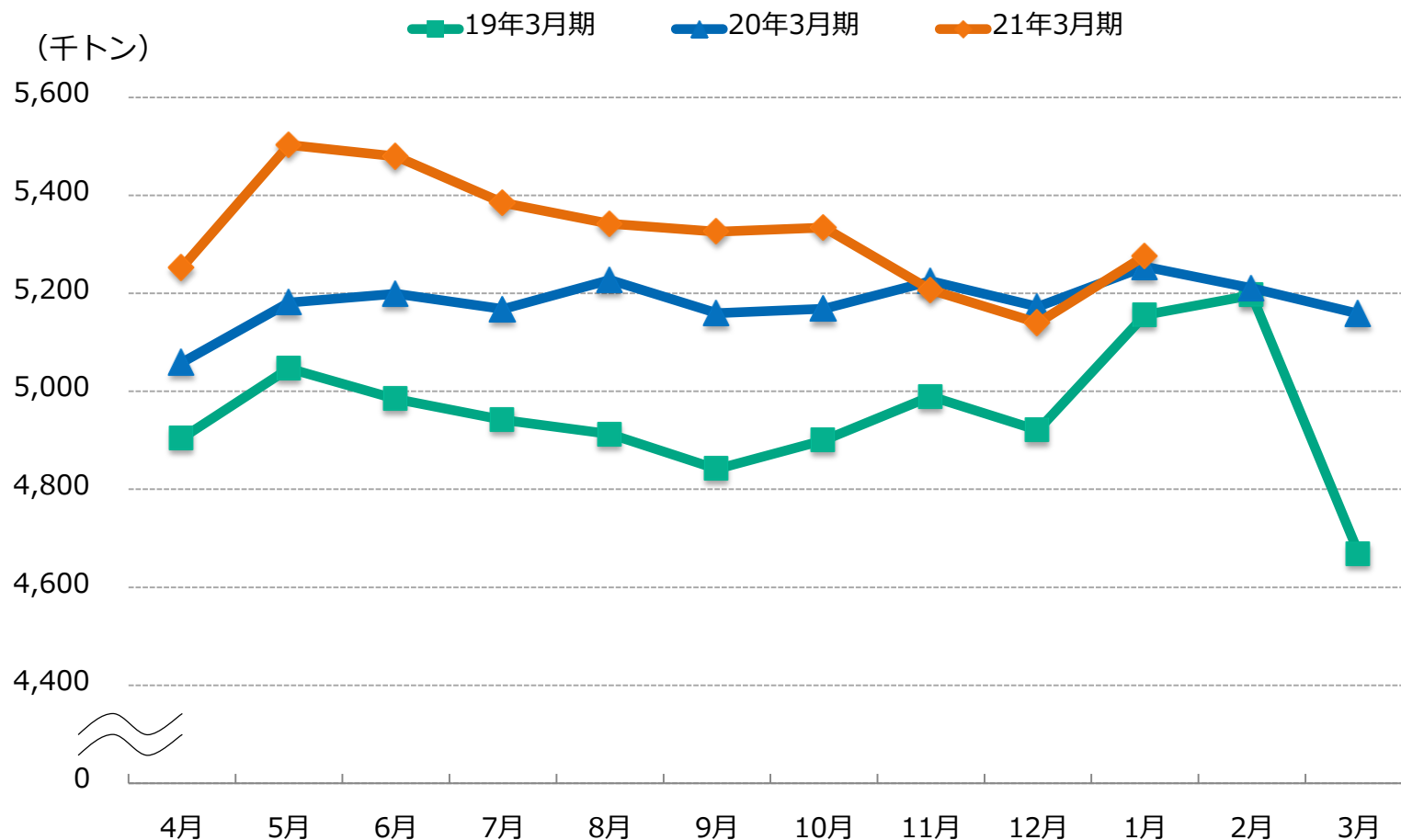
3



データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

普通倉庫 2 1 社統計 保管残高

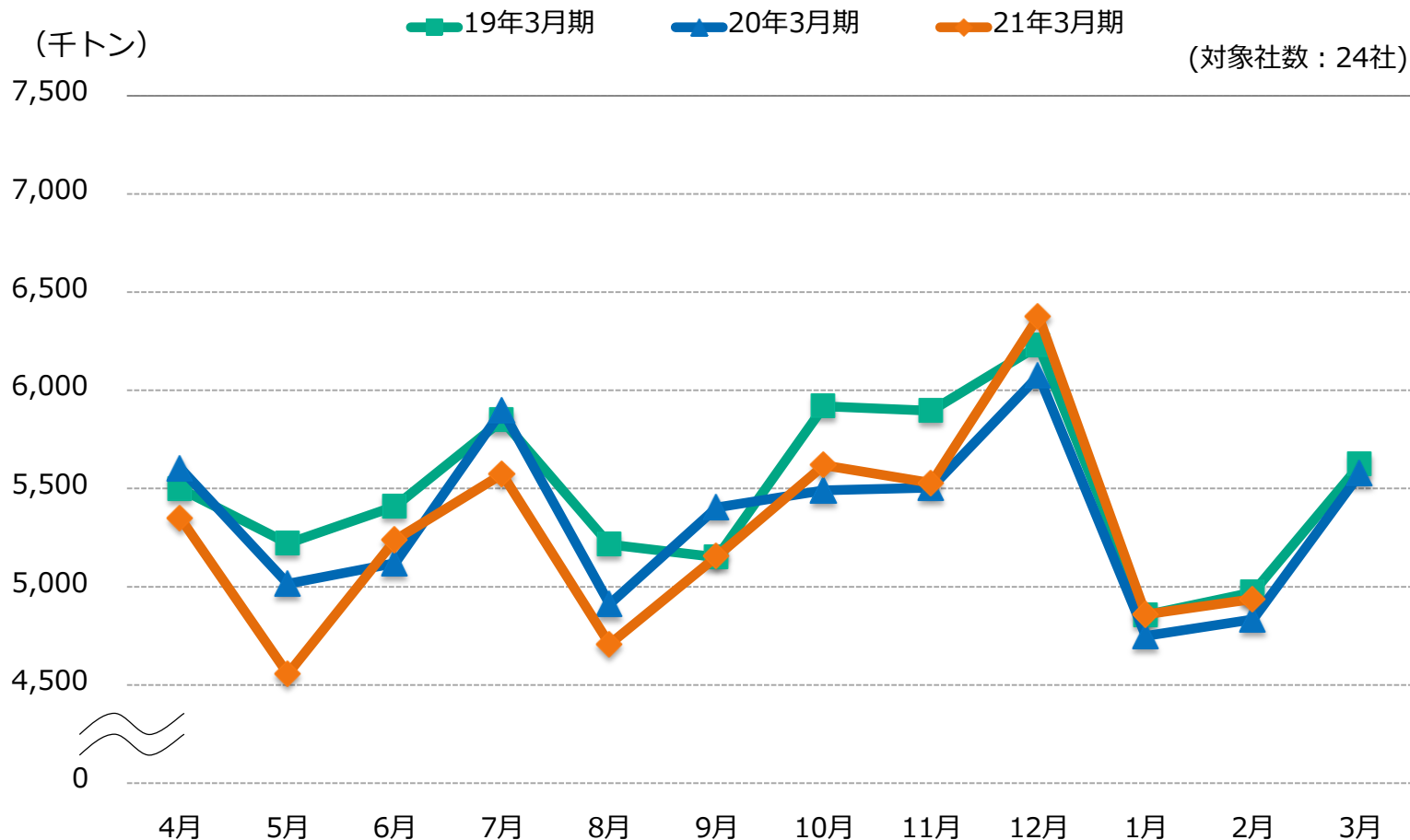
4



データ出典：一般社団法人 日本倉庫協会

特積貨物輸送トン数

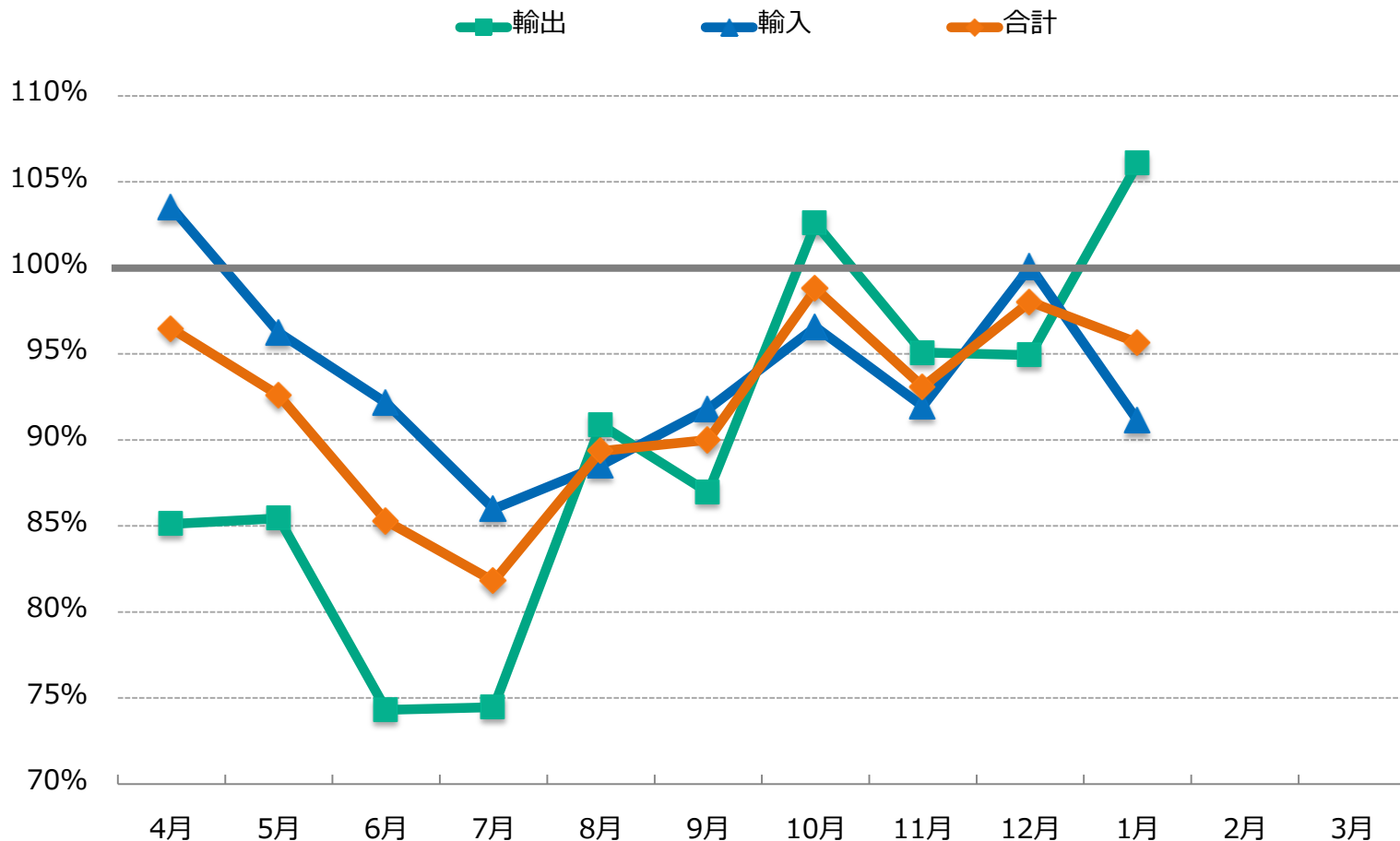
5



データ出典：国土交通省 トラック輸送情報

コンテナ取扱本数（京浜港） 前年同月比

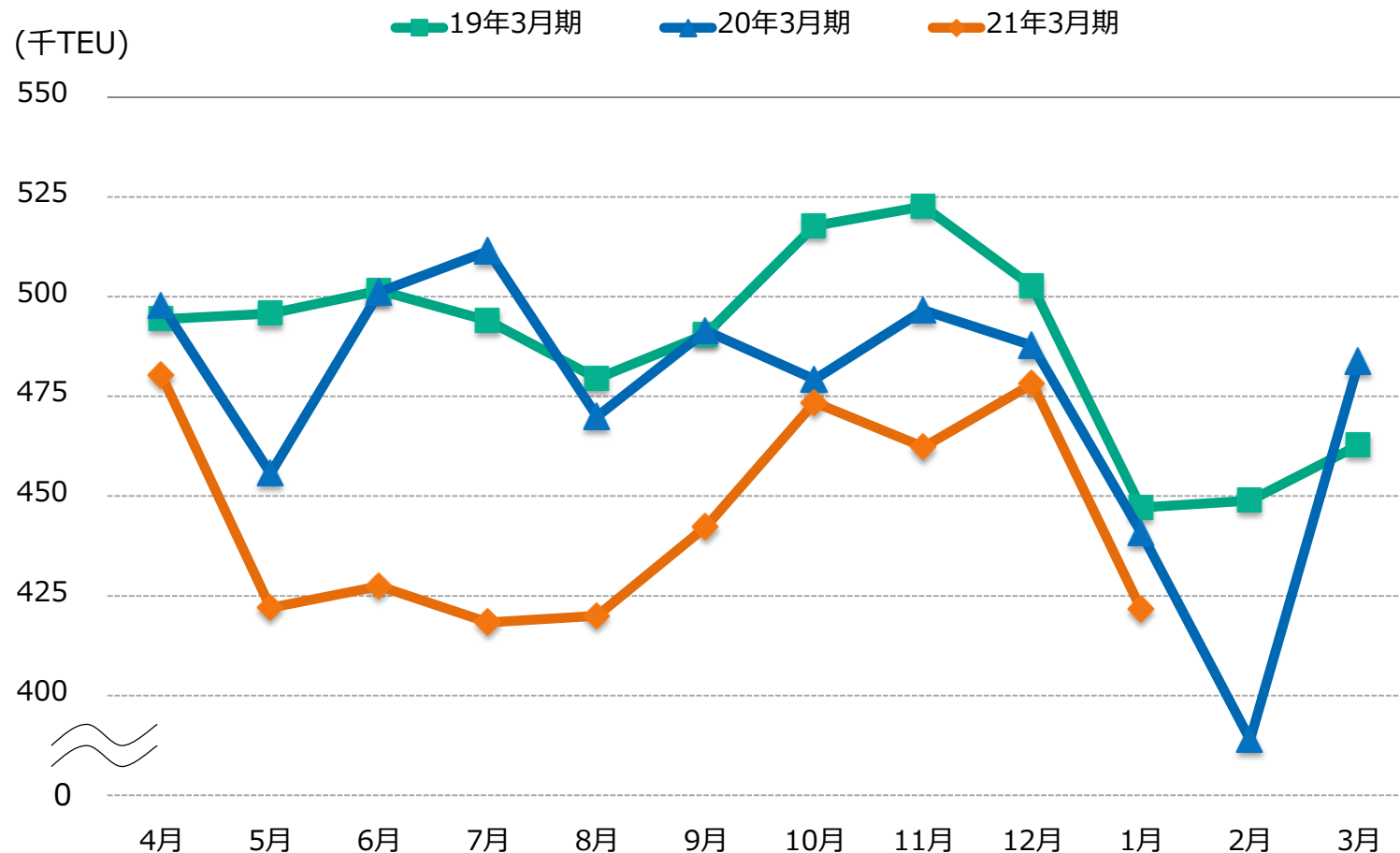
6



データ出典：東京都港湾局 港湾統計、横浜市港湾局 横浜港の統計

コンテナ取扱本数（京浜港） 輸出入合計

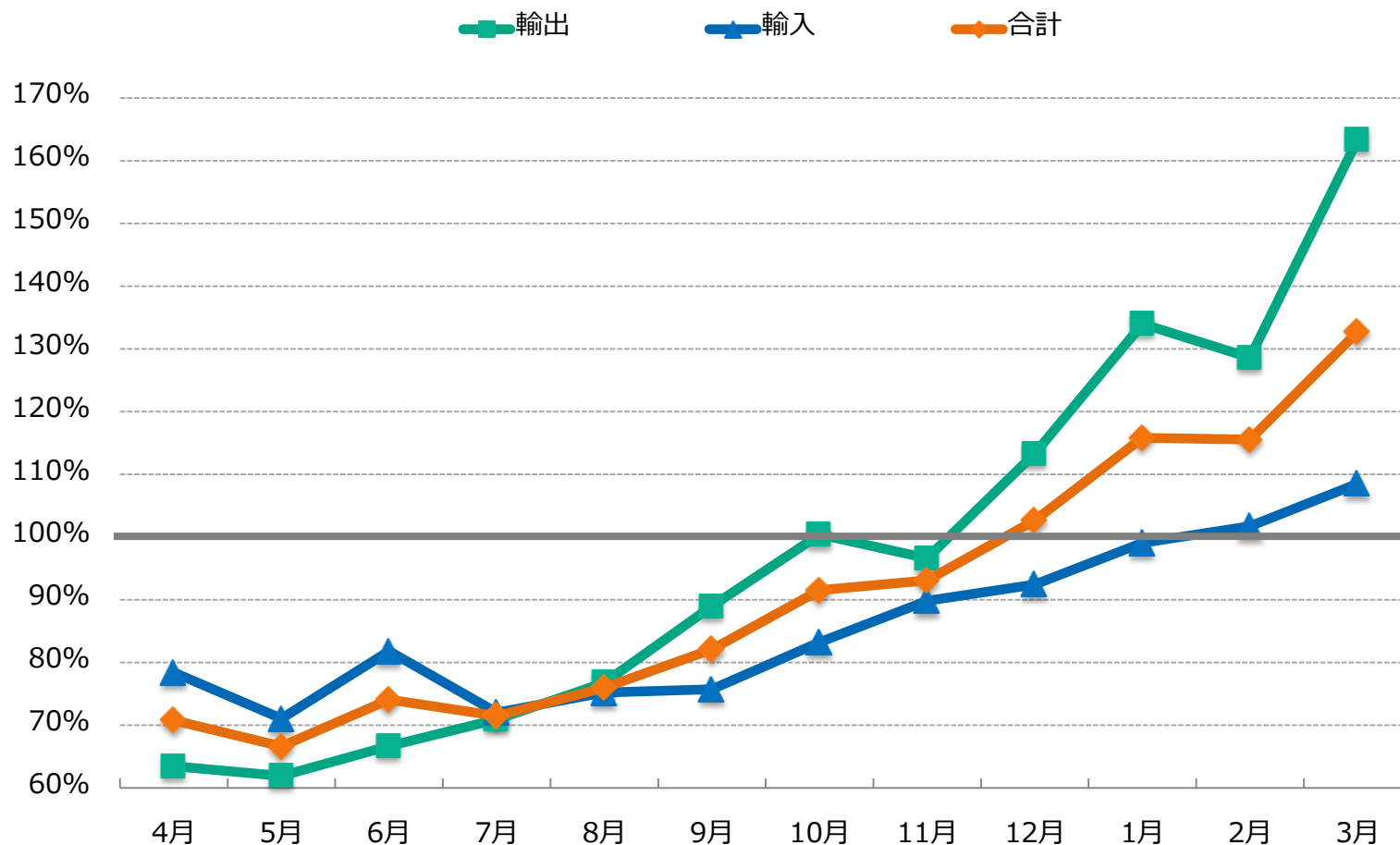
7



データ出典：東京都港湾局 港湾統計、横浜市港湾局 横浜港の統計

国際航空貨物取扱量 前年同月比

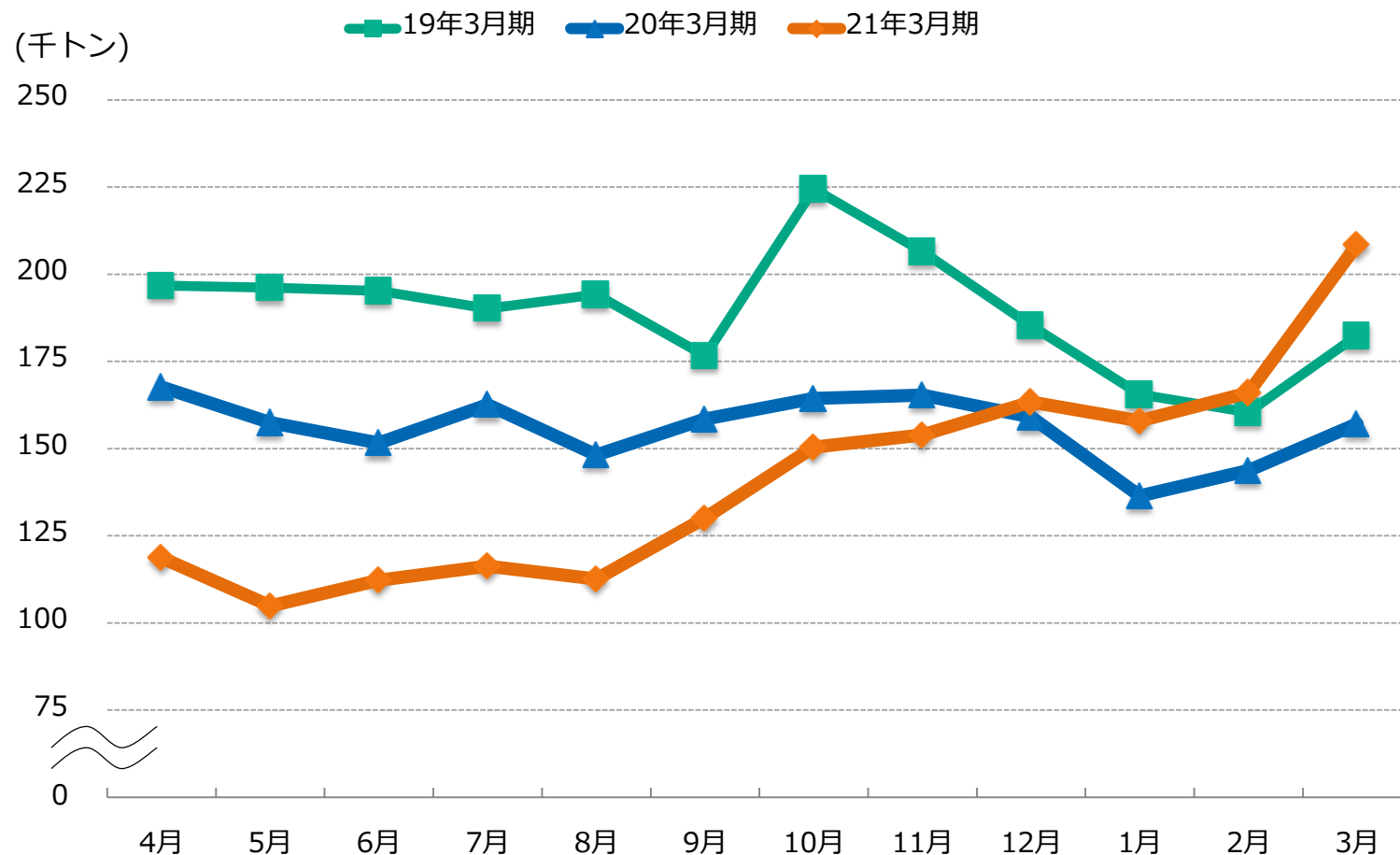
8



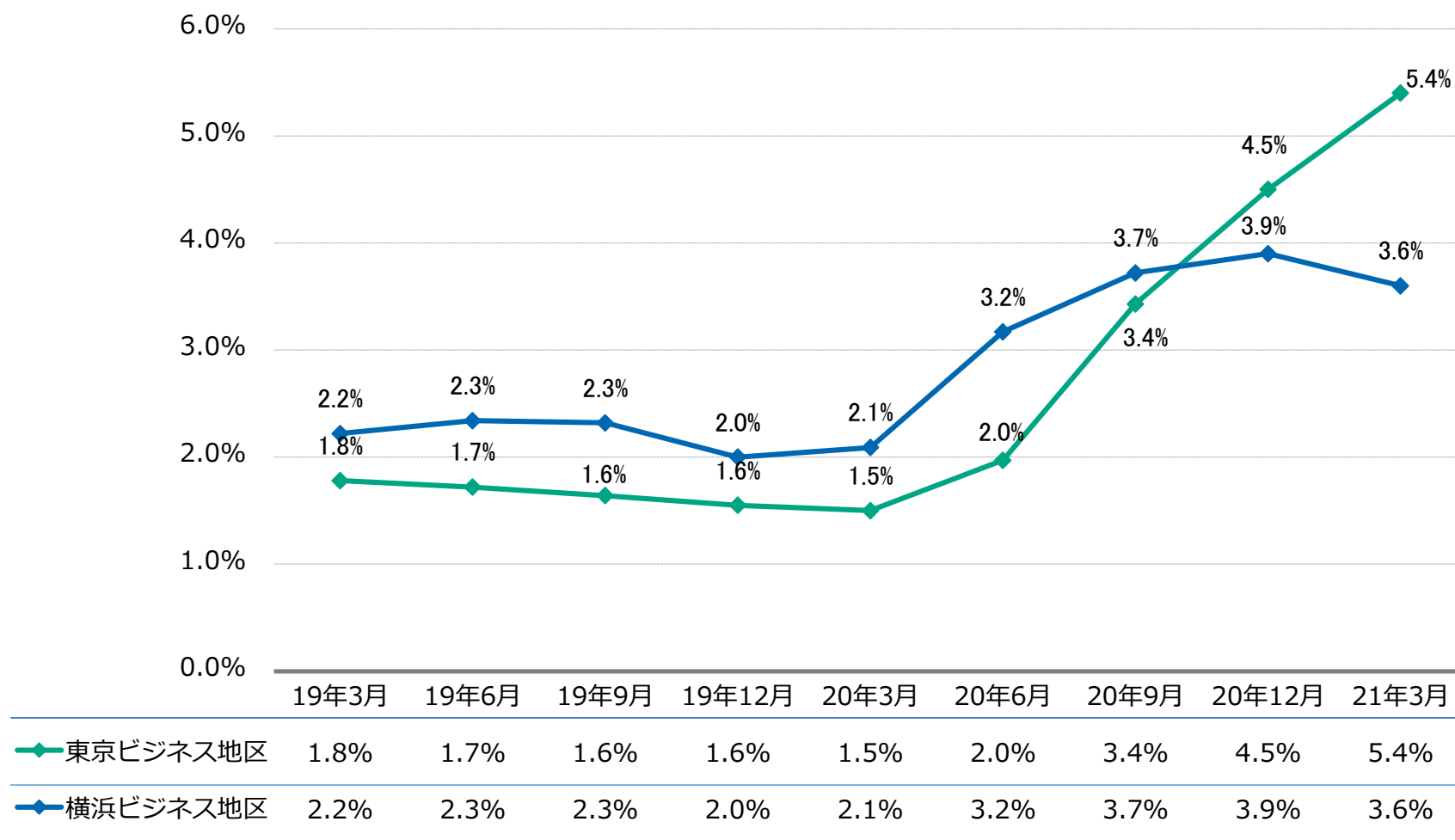
データ出典：一般社団法人 航空貨物運送協会

国際航空貨物取扱量 輸出入合計

9

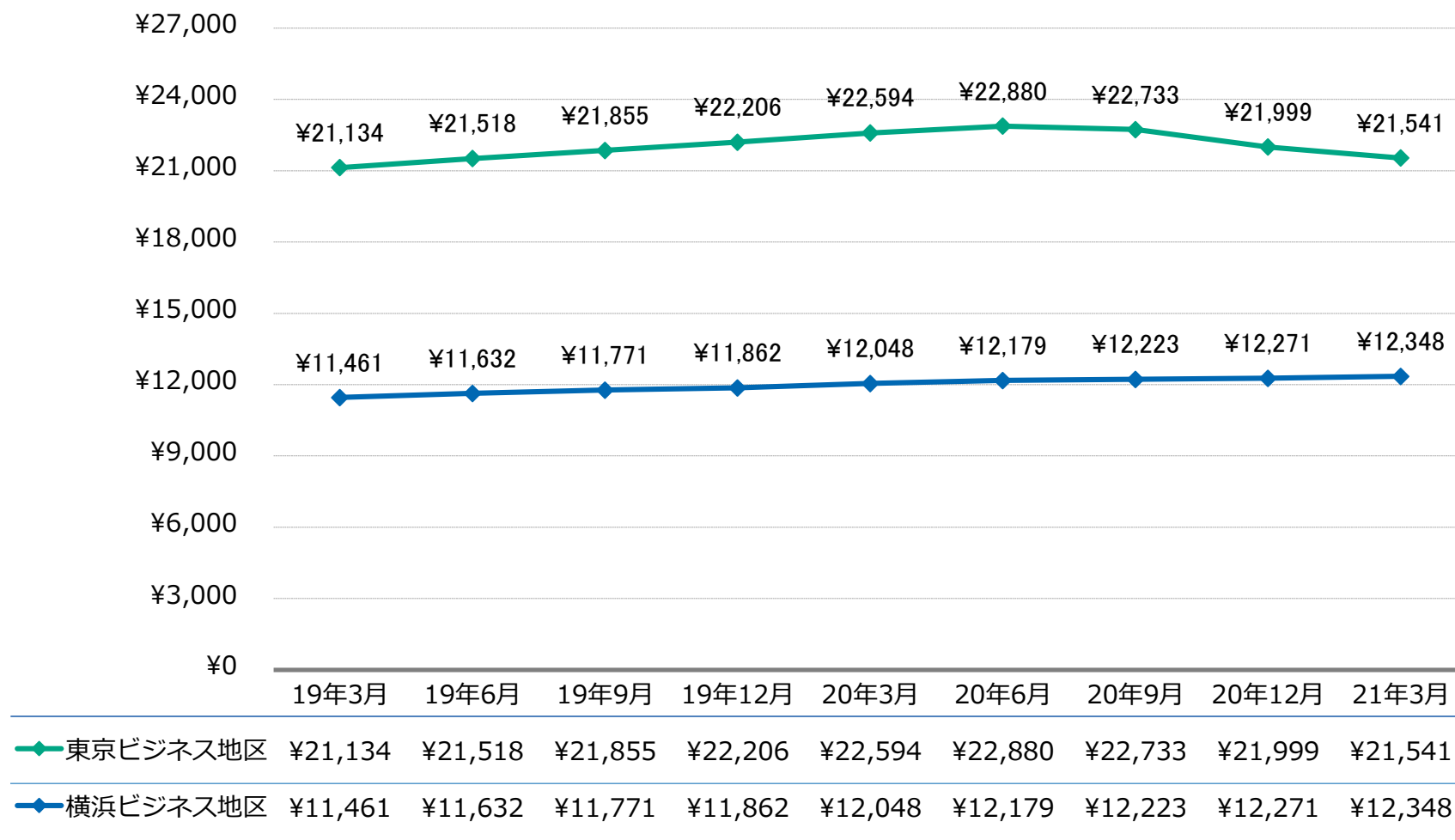


データ出典：一般社団法人 航空貨物運送協会



募集賃料相場（円／坪）

11



データ出典：三鬼商事株式会社 市況・データ情報

1. 環境認識

2. 2021年3月期 通期の実績

3. 2022年3月期 通期の見通し

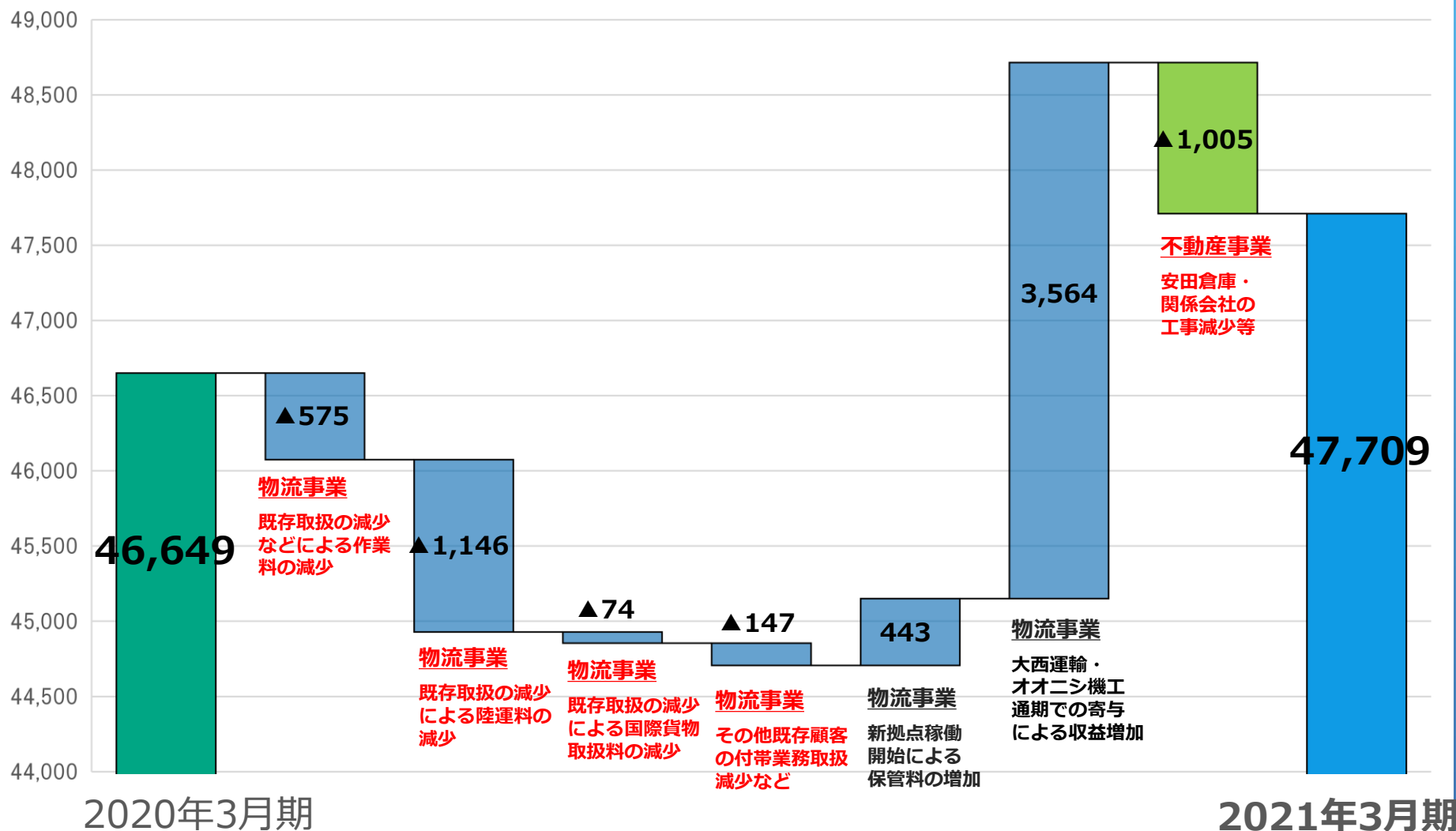
(単位：百万円)

	連結		前年同期比		21年2月発表 修正見通し対比	20年5月発表 見通し対比
	20/03期	21/03期	増減額	増減率	増減率	増減率
営業収益	46,649	47,709	1,059	2.3%	1.5%	▲4.6%
営業利益	3,470	3,288	▲181	▲5.2%	13.4%	31.5%
経常利益	4,451	4,363	▲87	▲2.0%	11.9%	26.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,947	2,791	▲156	▲5.3%	16.3%	17.8%
営業収益営業利益率	7.4%	6.9%	▲0.5pt	-	-	-
1株当たり当期純利益 (円)	101.41	96.40	▲5.01	▲4.9%	-	-
総資産	128,471	147,101	18,630	14.5%		
純資産	68,477	76,235	7,758	11.3%		
自己資本比率	53.1%	51.6%	▲1.5pt	-		
1株当たり純資産 (円)	2,355.07	2,622.46	267.39	11.4%		

営業収益の主な変動要因

14

(単位：百万円)



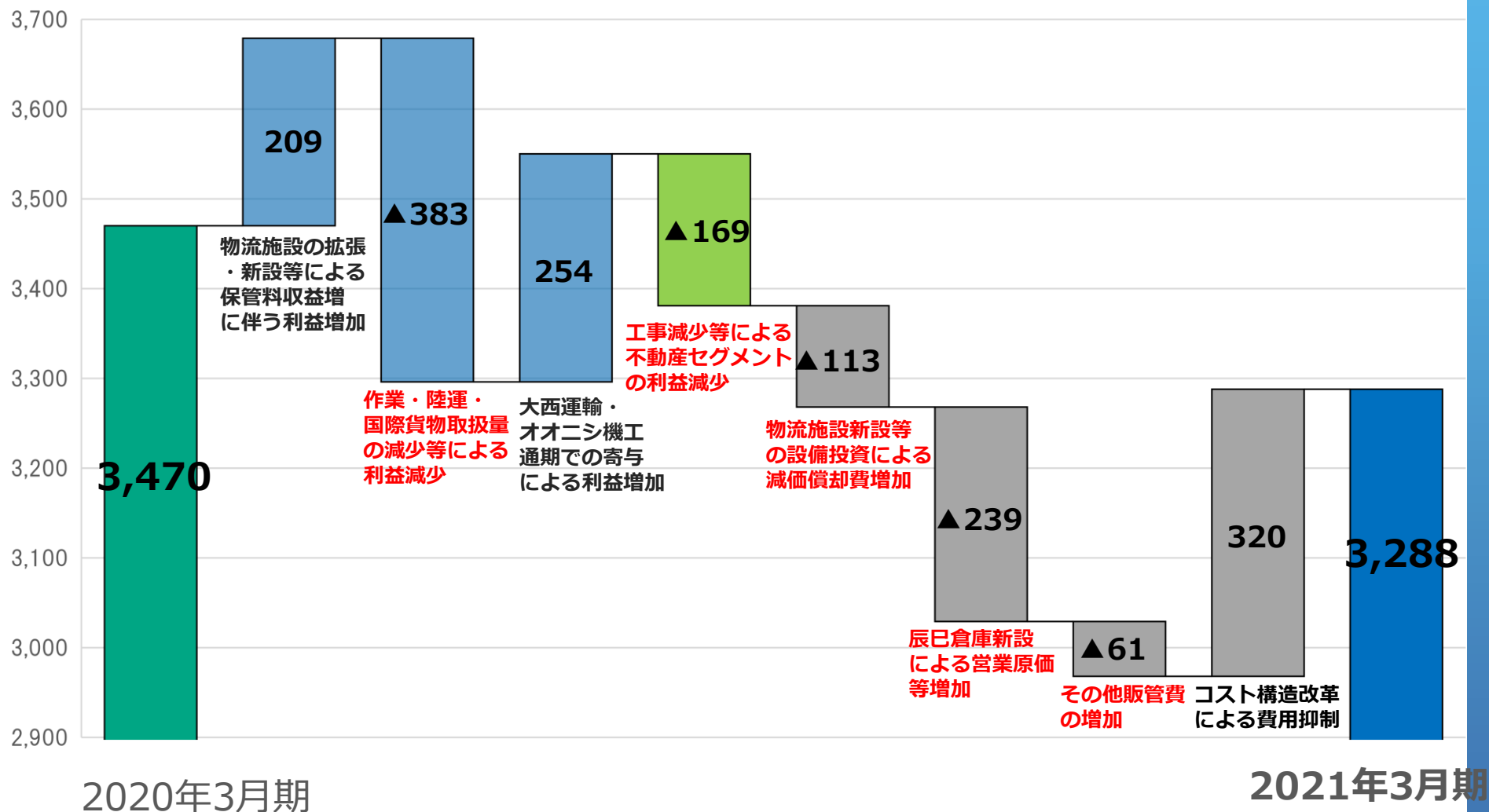
YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

営業利益の主な変動要因

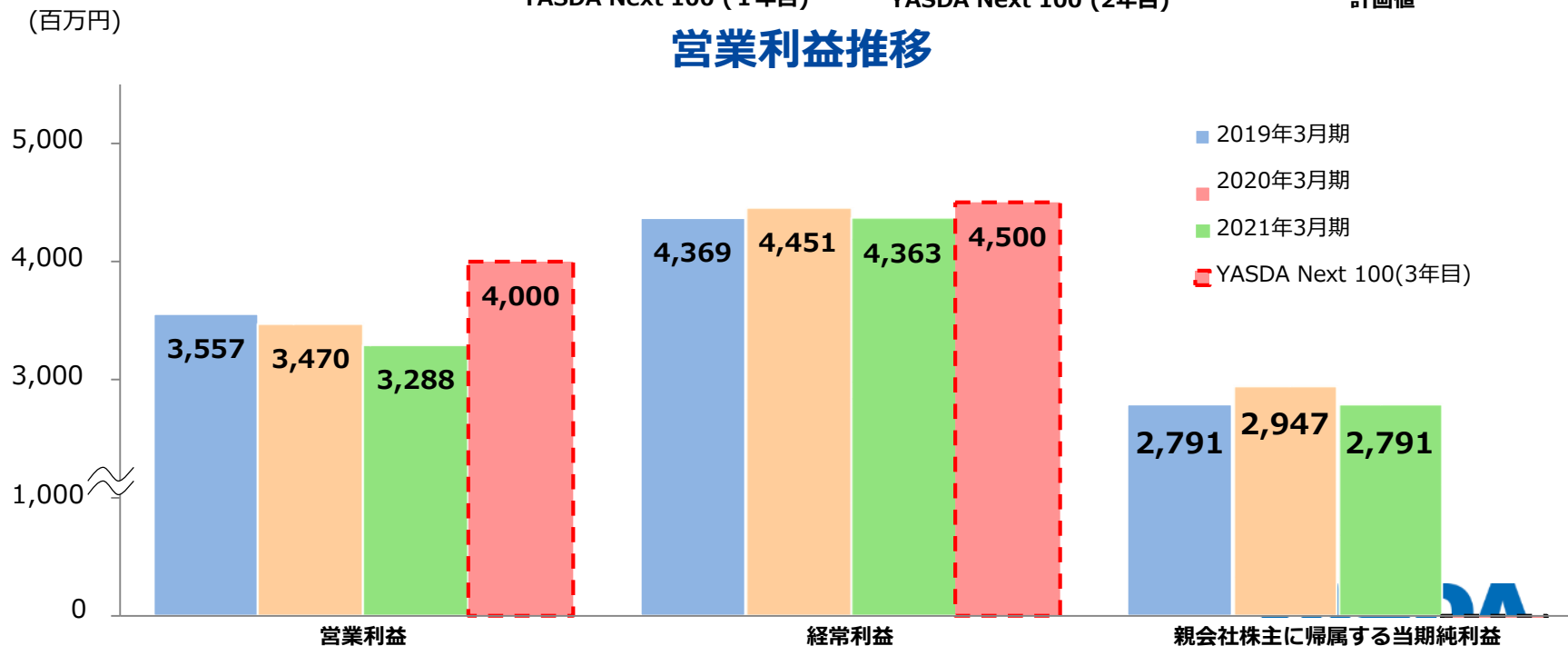
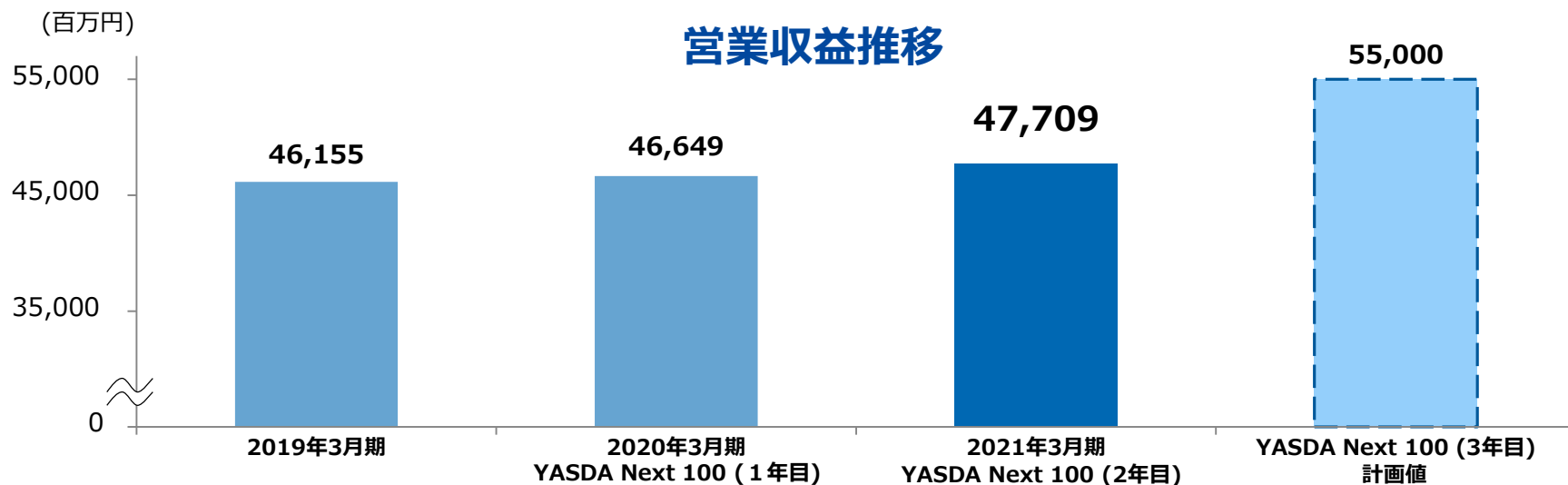
15

(単位：百万円)



業績推移（および中期経営計画との比較）

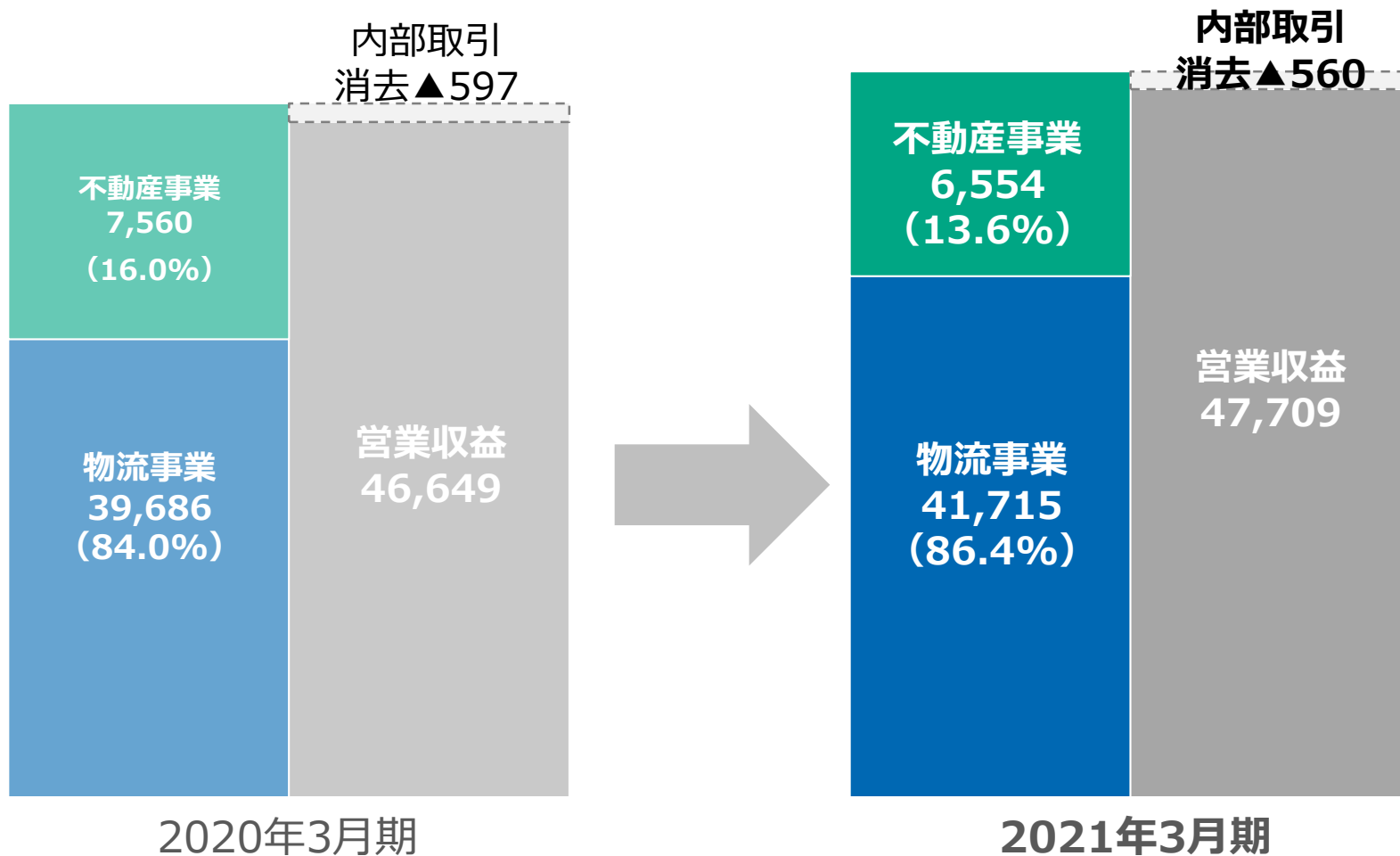
16



セグメント別営業収益

17

(単位：百万円)
() 内は構成比



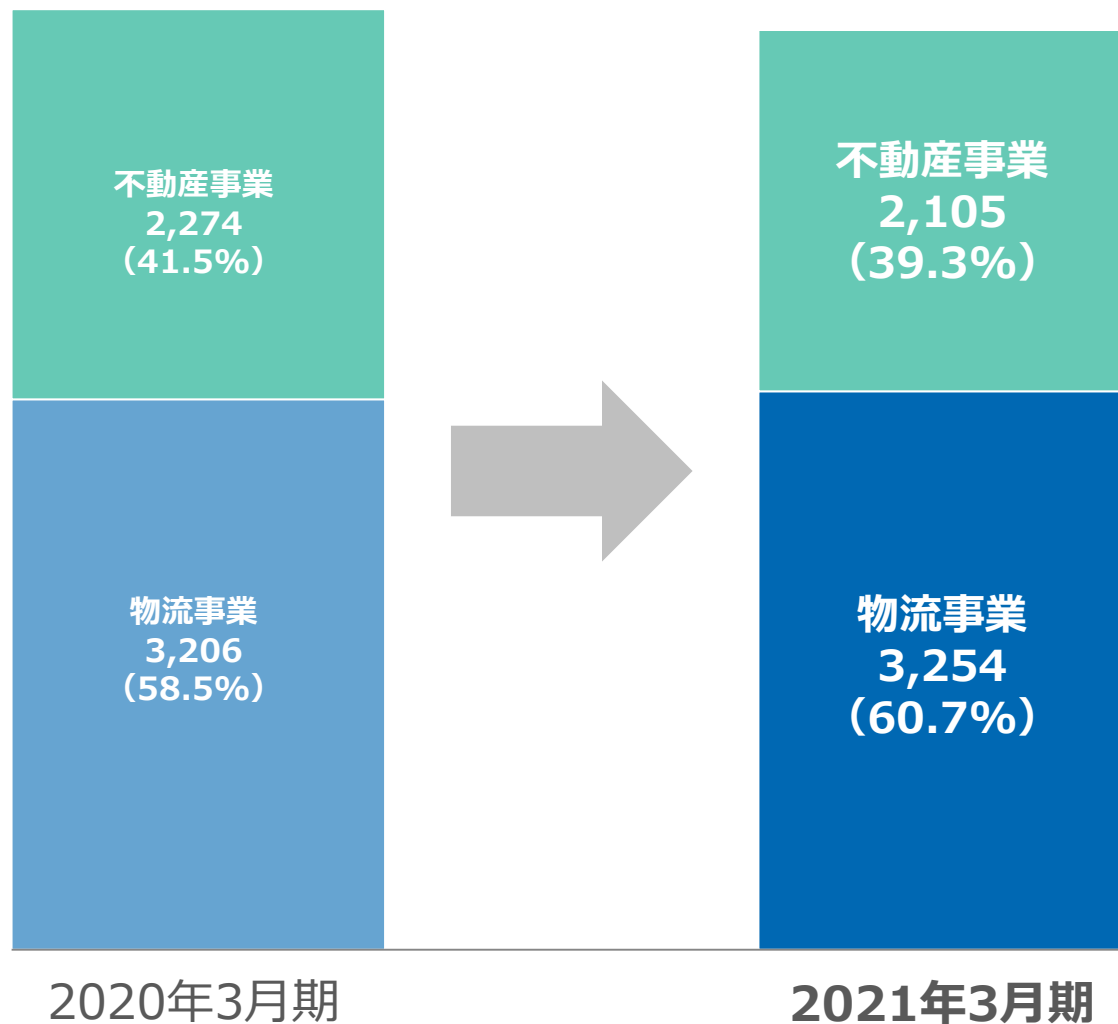
YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

セグメント別営業利益

18

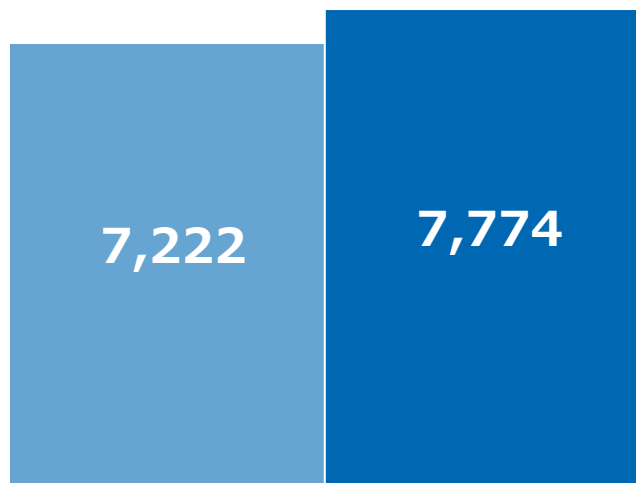
(単位：百万円)
() 内は構成比



(単位：百万円)

保管料

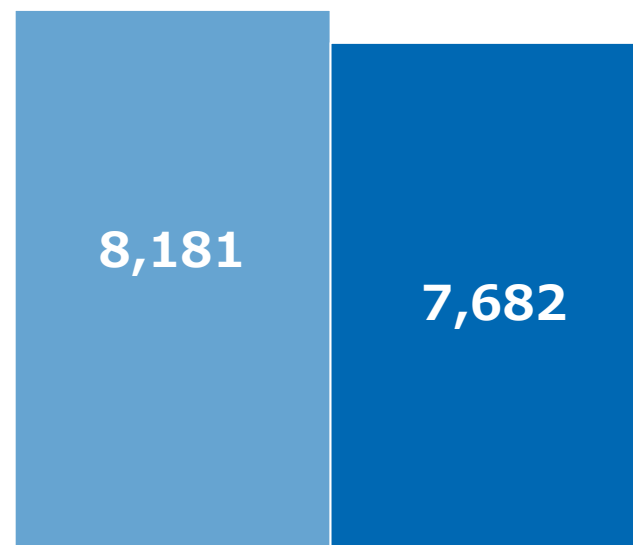
■ 前期 ■ 今期



倉庫施設の新設や拡張などにより
前期比増収

倉庫作業料

■ 前期 ■ 今期

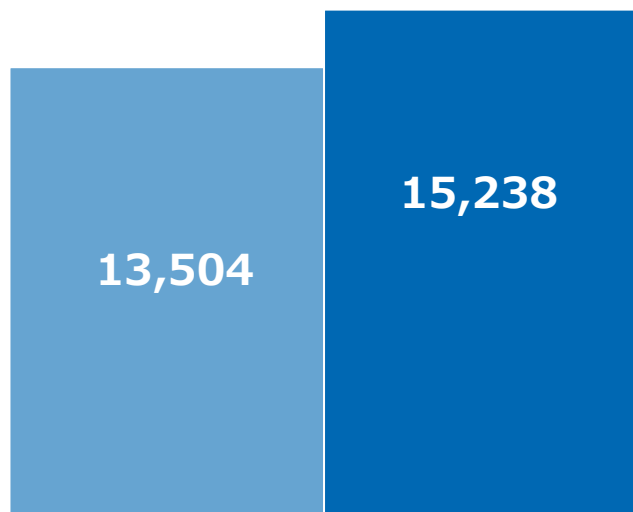


新型コロナウイルス感染症の影響
による作業の減少などにより
前期比減収

(単位：百万円)

陸運料

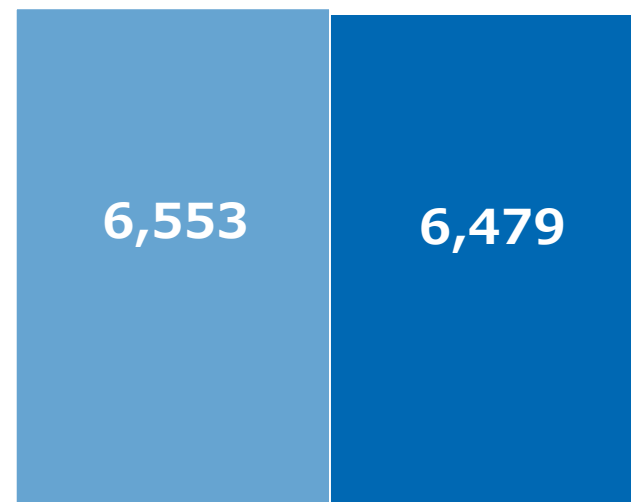
■ 前期 ■ 今期



関係会社の陸運取扱の増加などにより前期比増収

国際貨物取扱料

■ 前期 ■ 今期

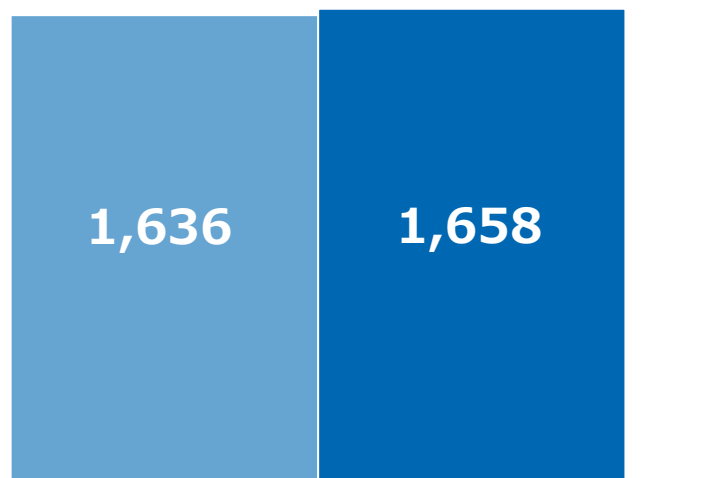


新型コロナウイルス感染症の影響による国際貨物の取扱減少などにより前期比減収

(単位：百万円)

物流賃貸料

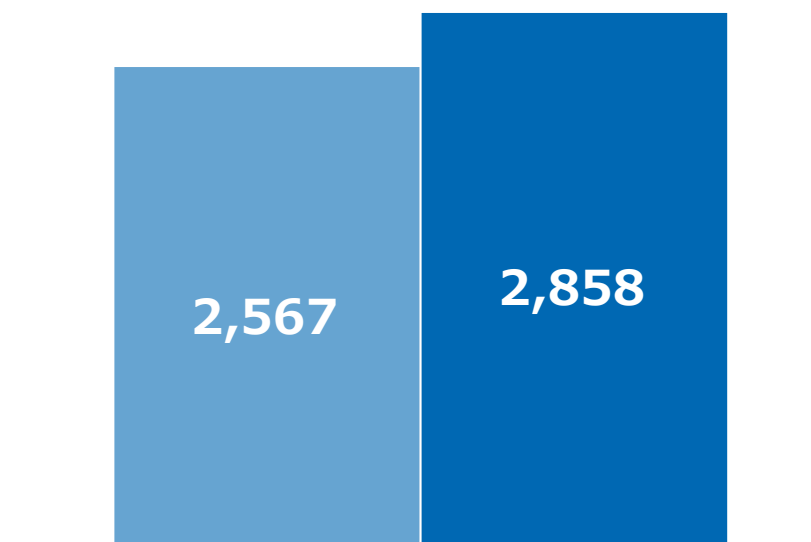
■ 前期 ■ 今期



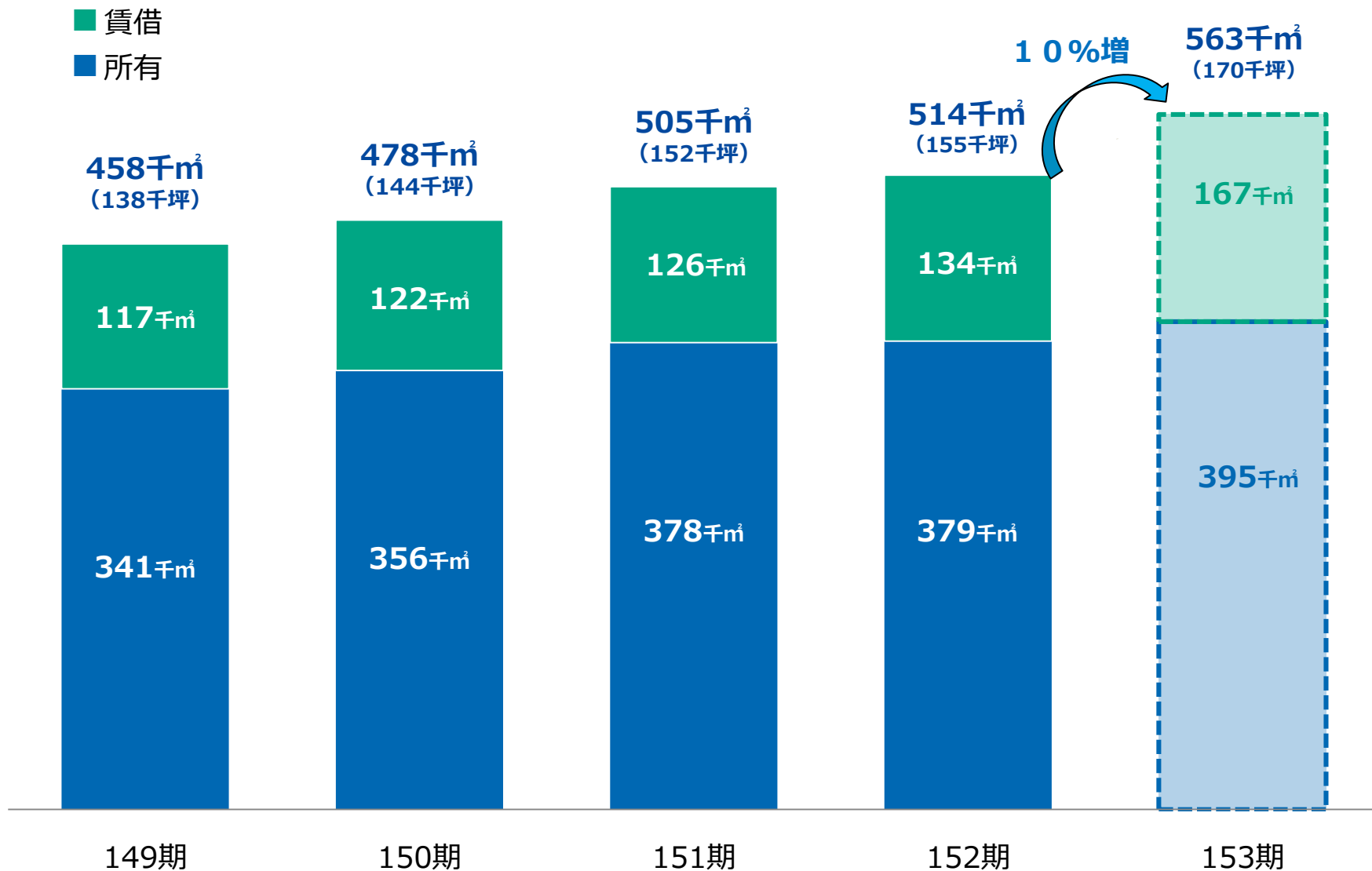
前期並みに推移

その他 (物流)

■ 前期 ■ 今期



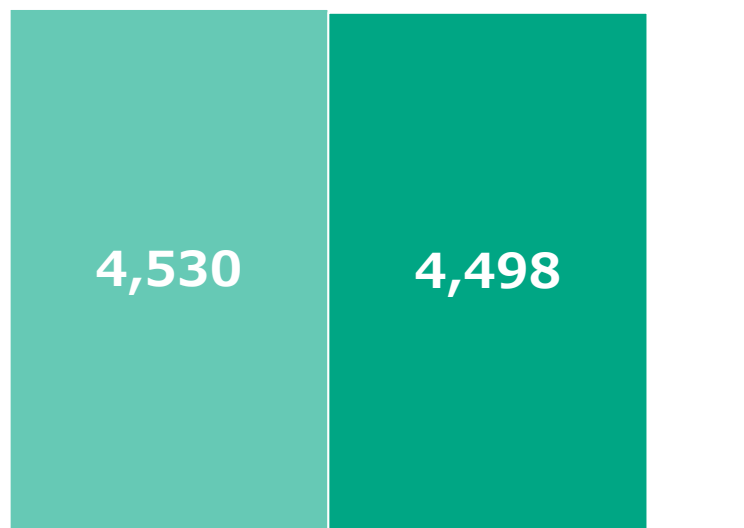
関係会社での付帯業務取扱増加などにより前期比増収



(単位：百万円)

不動産賃貸料

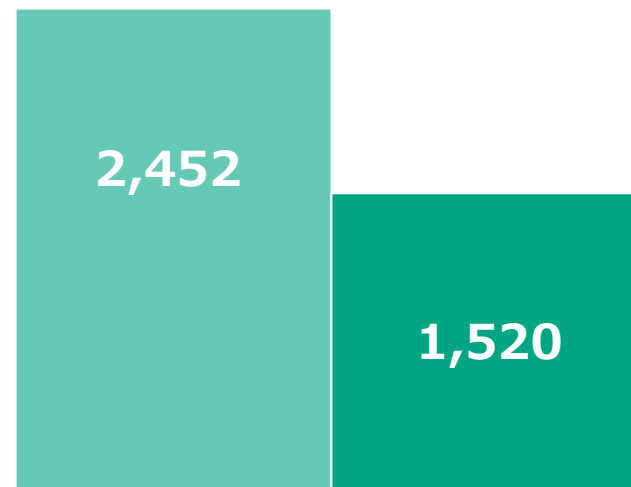
■ 前期 ■ 今期



前期並みに推移

その他（不動産）

■ 前期 ■ 今期



施工工事の減少などにより
前期比減収

トピックスⅠ：都心にメディカル物流向け倉庫を増強 24

倉庫外観



名 称	東雲営業所 (東京メディカルロジスティクスセンター)
-----	-------------------------------

所 在	東京都江東区東雲2-13-35
-----	-----------------

敷地面積	3,286坪 (10,864㎡)
------	------------------

延床面積	6,682坪 (22,089㎡)
------	------------------

主要構造	鉄骨造(CFT造) 地上4階建て
------	------------------

開 設	2020年6月
-----	---------

倉庫外観



名 称	東雲営業所 辰巳倉庫 (東京メディカルロジスティクスセンターⅡ)
-----	-------------------------------------

所 在	東京都江東区辰巳3-6-3
-----	---------------

敷地面積	約1,600坪 (約 5,200㎡)
------	--------------------

延床面積	約5,400坪 (約17,800㎡)
------	--------------------

主要構造	鉄骨造 地上7階建て
------	------------

開 設	2021年1月
-----	---------

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

倉庫外観



名 称	大阪営業所 南港倉庫（新設）
所 在	大阪市住之江区南港南2-4-43
	GLP大阪内一部区画
延床面積	2,612坪（8,635㎡）
主要構造	柱梁PC造、一部鉄骨造／免震構造
開 設	2020年10月

倉庫外観



名 称	大黒流通センター（増床）
所 在	横浜市鶴見区大黒ふ頭22
	横浜港国際流通センター（Y-CC）内 一部区画
延床面積 （増床）	1,294坪（4,277㎡）
主要構造	PC造
開 設	2020年11月

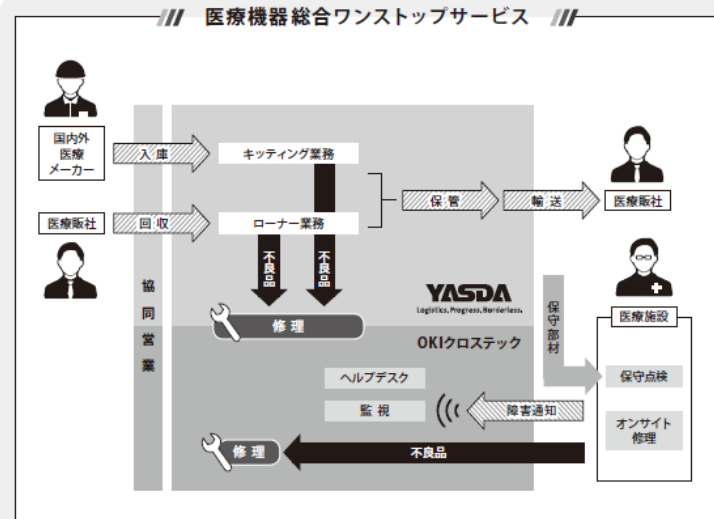
OKIクロステック(株)と業務提携



安田倉庫とOKIクロステックが業務提携し、
メディカルロジスティクスセンターを開設しました

医療機器 総合ワンストップサービスを提供

医療機器の点検の代行や迅速な修理対応により、メーカー・販社の経営効率を高め、多忙な医療従事者の業務負担を軽減、災害などの緊急時にも医療業務に集中できる環境整備を支援していきます。高度なサポートサービスを実現したのは、物流事業者として初めて、医療機器修理業区分（特管第一区分～特管第八区分）を許可取得した安田倉庫、OKIクロステックは、センター内で行われる修理の安全性・品質管理と、医療施設における点検代行や修理業務、コールセンター業務などを担います。



センターに関するお問い合わせ
安田倉庫株式会社 メディカル営業第二部 03-3452-7318 yasda-medical2@yasuda-soko.co.jp

保守・管理に関するお問い合わせ
OKIクロステック株式会社 営業本部HAサービス推進室 03-6381-2435 oxt-hasui@oki.com

物流事業者として初めて医療機器修理業許可（修理区分 特管第1区分から特管第8区分まで）を取得。倉庫・物流機能に加えて医療機器の検査・点検・検品・薬事ラベル添付業務、洗浄・廃棄、修理、コールセンター業務、オンライン遠隔監視サービス、AI予兆診断による故障予測適時保守などの高度なサポートサービスを提供します。医療従事者の業務負担軽減にも寄与、災害やパンデミックなどの緊急時にも医療業務に集中できる環境整備を支援して参ります。

医薬品製造業を取得

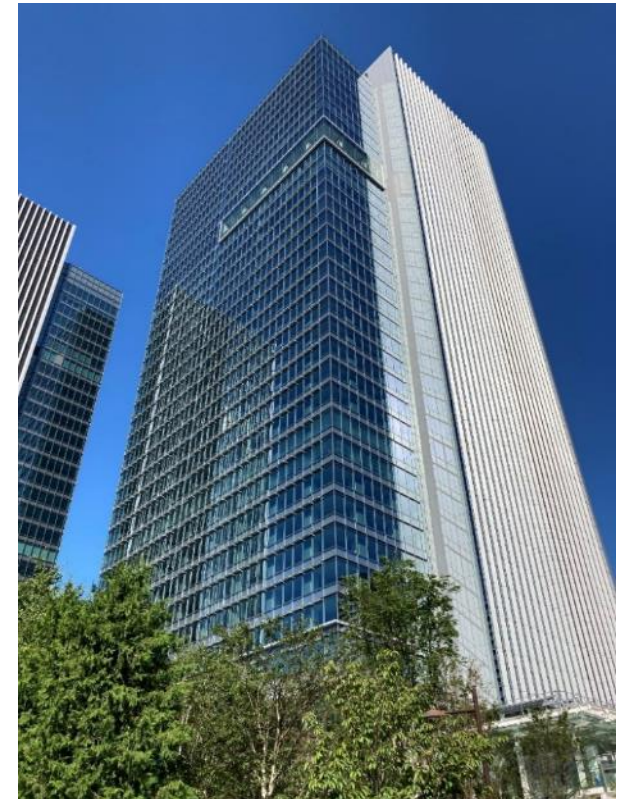
九州営業所にて医薬品製造業を取得。輸入された医薬品原料など出荷判定前の貨物の保管サービスが可能となります。GMP省令に適合した組織体制の構築や薬剤師の採用など、より高品質なメディカル物流サービスを提供いたします。



Logistics, Progress, Borderless.

オフィス環境の改善及びグループ経営効率化の為の本社移転

移転先	東京都港区芝浦三丁目1番1号 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 29階 (田町駅徒歩3分)
移転時期	2020年12月28日
移転理由	オフィス環境の改善及びグループ経営の 効率化を図るため
移転会社	安田倉庫 ヤスダワークス（倉庫荷役業） 芙蓉エアカーゴ（航空貨物取扱業） 安田エステートサービス（不動産管理業）



移転先：msb Tamachi

田町ステーションタワーN

旧本社は再開発の上
有効活用を検討

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

- 長期発行体格付（日本格付研究所）A-（安定的）の維持
- 第1回無担保社債を発行

社債の名称

社債の総額

利率

取得格付

資金用途

安田倉庫(株)第1回無担保社債
(社債間限定同順位特約付)

100億円

年0.550%

A-
(株)日本格付研究所)

借入金返済資金、設備
投資資金及び運転資金

財務規律を維持しつつ
投資を継続

「DX事業推進室」の新設

当社グループの物流事業に関する
DX推進を主業務とする

「DX事業推進室」新設し、
最先端テクノロジーと高度な情報
システムの融合による、お客様への
更なる付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供を目指します。



位置特定特許技術を持つRFルーカス(株)への出資

電子（RFID）タグの読取時の位置情報特定において特許技術を持つRFルーカス(株)への出資により、
ドライバーを始めとする人手不足や、
EC市場拡大による荷量急増への
対応など、物流業界の諸課題の解決と
更なるDX推進の取組を一層加速して
参ります。



「エコシップマーク優良事業者の認定

神奈川県から福岡県までの在庫移動に際し海上輸送を利用することでCO2の削減に貢献。エコシップマークの優良事業者として認定されました。

「ホワイト物流推進運動への参加

トラック運転手不足が深刻になっている現状に対し、物流の改善提案やモーダルシフトなどの取り組みによる効率的なサプライチェーンによって持続可能な物流の実現をめざします。

「社会貢献活動（清掃活動）」



本社が所在する海岸三丁目周辺や臨海部公園の清掃活動を継続して行っております。



中国現地学校へのマスク寄付を実施

新型コロナウイルスの全世界での感染拡大に伴いマスクが入手困難となる中、自社倉庫作業員のため用意していたマスクの一部を当社倉庫拠点のある上海の現地中学校へ寄付いたしました。



ガバナンス体制の強化

- 指名・報酬諮問委員会の設置：2020年2月
- 執行役員制度の導入：2020年6月
- 株式報酬制度の導入：2020年6月

今後もガバナンスの強化に努めてまいります。

1. 新規取引の開始

- | | | |
|------------------------|------------|------------|
| (1) 医療機器業務 | ・・・守屋町 | (4月) |
| (2) 医薬品原薬業務 | ・・・九州 | (4月) |
| (3) ホッティング作業会社様のセンター誘致 | ・・・大阪、ITKU | (5月) |
| (4) メディカル関連業務(3社) | ・・・東雲 | (6月、8月、1月) |

2. 既存取引の拡大

- | | | |
|-------------------|--------------------------|-------|
| (1) メディカル関連業務(2社) | ・・・東雲 | (6月) |
| (2) 医療機器業務 | ・・・守屋町 | (6月) |
| (3) 住宅建築資材業務 | ・・・大阪/南港 | (10月) |
| (4) 輸入家具業務 | ・・・大阪/南港 | (1月) |
| (5) 大型移転案件(3件) | (19年11月～20年5月、5～6月、11月～) | |

3. 新サービス提供開始・拡大

- | | |
|------------------------|----------|
| (1) LCMサービス、GIGAスクール対応 | (2) 鋼材物流 |
|------------------------|----------|



YASDA
Logistics, Progress, Borderless.

OKI
Open up your dreams

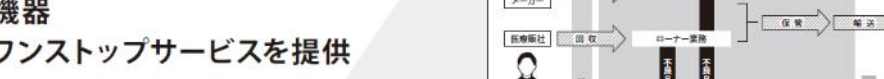
医療機器 総合ワンストップサービス

安田倉庫とOKIクロスステックが業務提携し、
メディカルロジスティクスセンターを開設しました

医療機器 総合ワンストップサービスを提供



医療機器の点検の代行や迅速な修理対応により、メーカー・施設の経営効率を高め、多様な医療従事者の業務負荷を軽減、災害などの緊急時にも医療施設に集中できる環境構築を支援していきます。高度なサポートサービスを実現したのとは、物流事業者として初めて、医療機器修理業区分（特設第一区分・特設業区分）を許可取得した安田倉庫、OKIクロスステックは、センター内で行われる修理の安全性・品質管理と、医療施設における直接代行や修理業務、コールセンター一環などをこころがけます。



安田倉庫株式会社 医療物流事業部 2023年10月開設

センターに関するお問い合わせ
安田倉庫株式会社 医療物流事業部 2023年10月開設
03-3452-7318 yasuda-medical2@yasuda-soko.co.jp

保守・管理に関するお問い合わせ
OKIクロスステック株式会社 営業本部ITサービス推進部 03-6381-2435 oai-hassai@oki.com

▲ 日經新聞廣告 ▼

2020年12月末
東京都江東区辰巳
東京メディカルロジスティクス
センターⅡ開設



安田倉庫

▲バナー広告

え!?! 倉庫会社
なのに?

ITキッティングと言えば 安田倉庫。

高度なITノウハウ 倉庫会社だから、 専門会社+αのITキッティングサービスが強みです!

高度なITノウハウ ☑ほぼ全てのIT稼働についてサービス提供が可能 ☑国際金融や金融機関を担当する機密保持力	+	倉庫会社ならではのバリュー ☑都心の専用施設で、配送のコストダウンや現地視察も容易 ☑機器の急な増減や、長期の保管にも即時対応可能
---	---	--

IT機器・システムの購入、保管・管理、廃棄まで、パートナーをお探しなら 安田のITキッティング ☎ 03-3452-7318 8:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

Logistics, Progress, Borderless. **YASDA**

安田倉庫株式会社 本社 〒108-8435 東京都港区海岸3-9-9



安田倉庫は、 ITキittingに 強い。

え!?

と思ったら、

効力と実績はごら
[安田のITキitting](#)

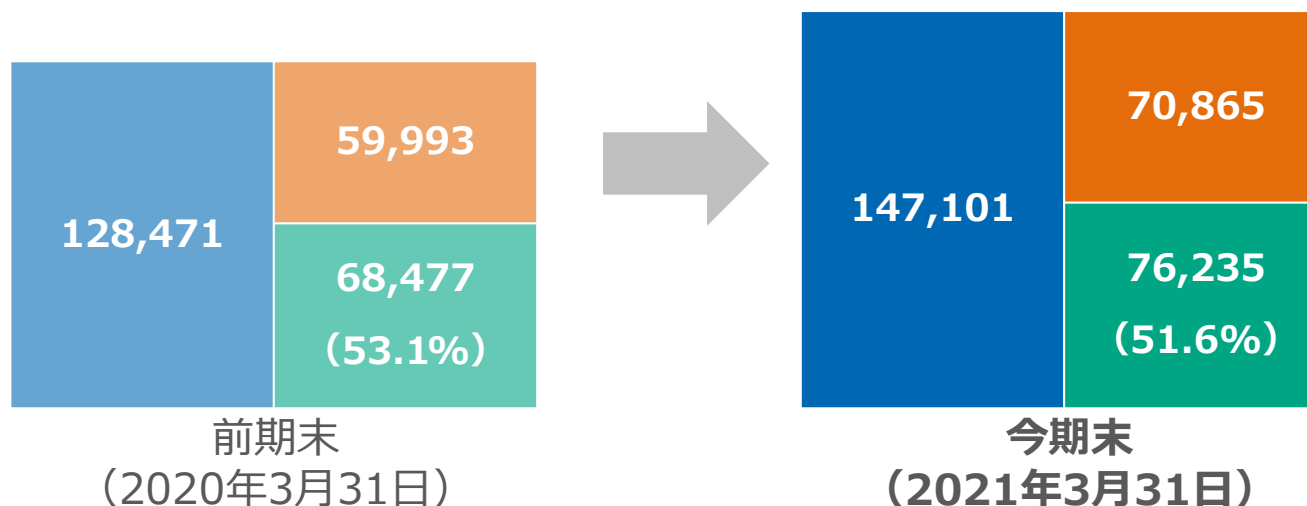
お問い合わせはこちら
03-3452-7318
info@yasuda.co.jp

Logistics, Progress, Borderless
YASUDA

▲田町駅構内広告

(単位：百万円)

注：（）内は自己資本比率



主な要因

■ 総資産	建物及び構築物	(+ 2, 3 7 0 百万)
	土地	(+ 4, 2 7 6 百万)
	投資有価証券	(+ 7, 7 2 1 百万)
■ 負債	社債	(+ 9, 9 3 7 百万)
	繰延税金負債	(+ 2, 4 3 1 百万)
■ 純資産	利益剰余金	(+ 2, 0 9 5 百万)
	その他有価証券評価差額金	(+ 5, 3 5 3 百万)

キャッシュ・フローの状況

35

(単位：百万円)

	20/03期	21/03期	前期比	主な要因 (21/03期)
営業活動によるCF	5,039	3,943	▲1,096	税金等調整前当期純利益や減価償却費の資金留保など
投資活動によるCF	▲9,372	▲9,761	▲389	固定資産の取得による支出
財務活動によるCF	4,294	6,660	2,366	社債の発行
期末残高	7,829	8,680	851	

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

(単位：百万円)

	20/03期	21/03期	22/03期 (計画)
設備投資額	8,232	9,726	9,500
主な投資案件	<u>21/03期</u> ・新規施設(東雲・辰巳) ・既存施設の整備関連 (厚木、大黒) など		<u>22/03期</u> ・既存物流施設の設備増強・更新 (芝浦、守屋町、辰巳等) ・既存不動産施設の設備更新 (第1安田、第2安田ビル等) ・社内通信環境整備 など
減価償却費	2,745	3,156	3,372
期末借入金残高 及び社債発行残高	35,904	43,364	48,274

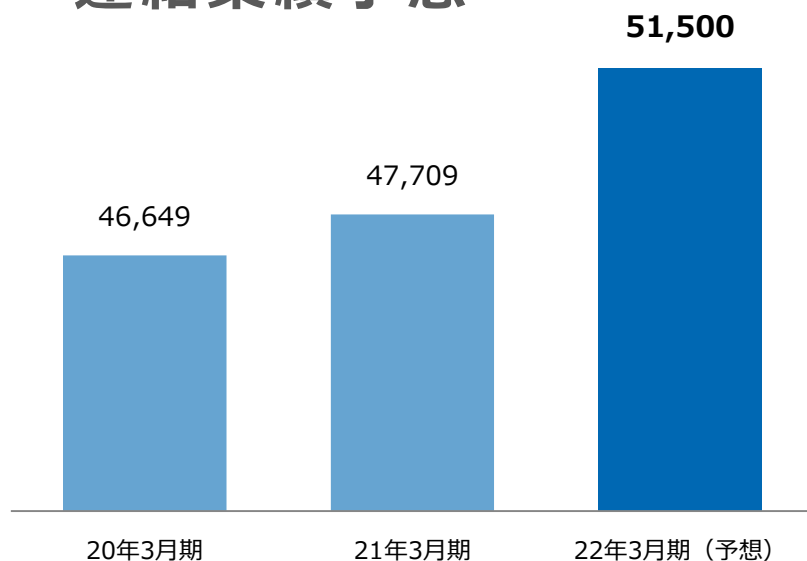
1. 環境認識

2. 2021年3月期 通期の実績

3. 2022年3月期 通期の見通し

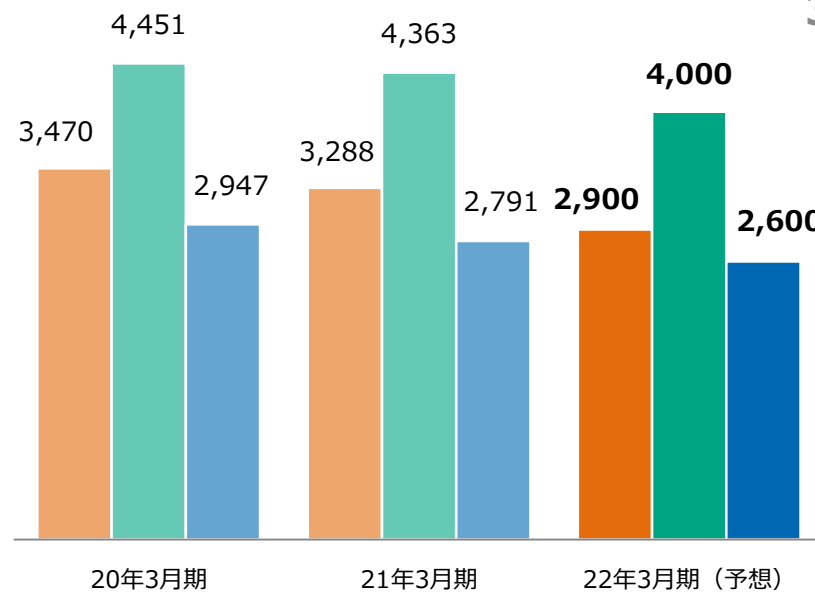
連結業績予想

38



(単位：百万円)

前期比		
	増減額	増減率
■ 営業収益	3,791	7.9%



(単位：百万円)

前期比		
	増減額	増減率
■ 営業利益	▲388	▲11.8%
■ 経常利益	▲363	▲8.3%
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	▲191	▲6.9%

- ・営業収益は、新規施設の稼働や倉庫・輸配送ネットワークの拡充など事業基盤の強化により増収を見込む。
- ・営業利益は、物流施設の拡充、既存施設の修繕、経営インフラの強化などに伴う営業費用の増加などにより減益を見込む。

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.

配当方針

安定配当を基本としつつ、利益水準等を勘案して決定

2018年3月期	年間配当14円	(連結配当性向21.3%)
2019年3月期	年間配当19円	(同20.0%)
2020年3月期	年間配当23円	(同22.7%)
2021年3月期	年間配当24円	(同24.9%)



2022年3月期

年間配当24円予定

(中間配当：12円、期末配当：12円)

YASDA



当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当資料は、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境等の変化に伴い、目標や計画に対し変化し得ることにご留意下さい。

投資を行う際には、必ず弊社が作成する有価証券報告書等をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

YASDA

Logistics, Progress, Borderless.